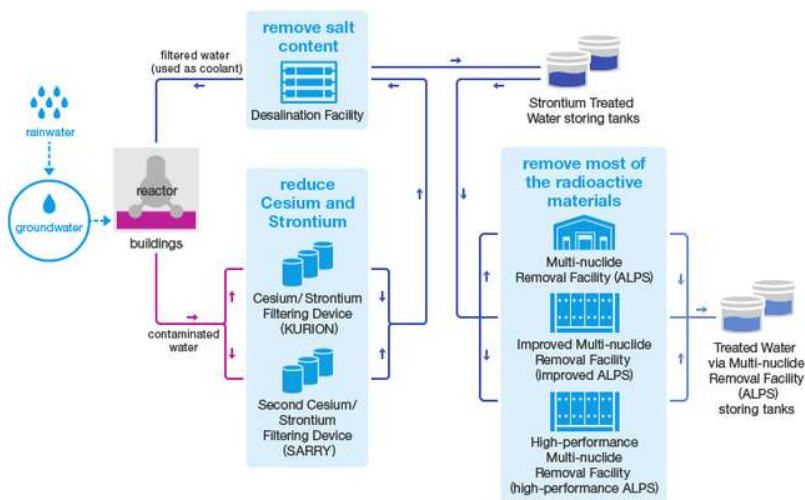


## セシウム吸着装置の機能維持

本廃炉公募テーマは、受付を終了しています。

### 募集内容



下記の課題に対する

・技術提案

を募集します。ご提案は、下記ボタンよりご投稿ください。

#### 【課題・現在の取り組み】

燃料デブリを冷却した後の冷却水は汚染水となり、セシウム吸着装置(600m<sup>3</sup>/日、除染係数 10E3~5)及び第二セシウム吸着装置(1,200m<sup>3</sup>/日、除染係数 10E4~6)で大部分のセシウムが除去された後、再び冷却水として循環されている。断続的な待機状態はあるものの、セシウム吸着装置は2011年6月から、第二セシウム吸着装置は2011年8月から現在まで運転を継続している。今後も当面の間汚染水の発生が継続する見込みであるが、両設備は必ずしも長期運転を想定した設計ではない。長期的な汚染水処理ためには設備の更新や改造等が考えられるが、費用、場所の確保、旧設備廃止に伴い発生する廃棄物などの課題を勘案し、最適な方策を見出す必要がある。

#### 【関連情報、課題の背景など】

福島第一原子力発電所水処理設備について

[http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2015/images/handouts\\_150115\\_08-j.pdf](http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2015/images/handouts_150115_08-j.pdf)